

図画工作科学習指導案

福山市立蔵王小学校
指導者 重見 麻理子

- 1 学年 第6学年2組 児童数24名(男子15名 女子9名)
- 2 場所 6年2組教室
- 3 題材名 和を感じよう ~ Art de time slip ~ B鑑賞(1)
- 4 内容の関連



5 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領における第5学年及び第6学年の内容である『B鑑賞(1)親しみある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。ア「自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。」イ「感じたことや思ったことを話し合ったり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。』を受けて設定したものである。

鑑賞活動は、作品からよさや美しさ、意図や気持ちを感じ取る鑑賞の能力を高めるとともに、その国の伝統や文化、時代などを理解することができる。また自分の感覚でよさや美しさをとらえるだけでなく、感じ取ったことを友だちと伝え合うことで、感じ方の違いを楽しんだり自分の考えを確かめたりし、さらにイメージを広げることができる。本題材で扱う美術作品は、「鳥獣人物戯画卷」である。この作品は、絵巻物で右から左へとストーリーが展開され、動物や人物を戯画的に描いたもので我が国最古のまんがとして、古くから伝わる日本美術である。動物の表情や動作など細やかにまた豊かに表現されていて、そこから話の展開や面白さを感じることができる。そして日本が昔から生活を楽しむための工夫として考えてきた調度品が、どのような楽しみ方をされていたのかを想像することで日本美術のよさを感じることのできる題材である。また実際絵巻物にして絵を提示したり、話合いの活動の隊形を工夫したりして感じたことを交流させるなど、児童同士の伝え合う言語活動を通して児童のいろいろな見方を広げることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、87%の児童が「図画工作科が好き」と感じ、13%の児童が「絵をどのように描けばいいのかわからない」などの理由で「あまり好きではない」と答えている。

児童は5年生のときに「アートレポーターになろう」「お気に入り研究所」で色、形、イメージから有名な美術作品を鑑賞し、鑑賞のよさを感じている。6年生の1学期には、ふくやま美術館へ行き「山下清展」の鑑賞をした。学芸員さんに解説をしていただきながら、作者の思いや生活の様子と関連付けて絵の鑑賞をした。山下清さんの性格や生活の様子を絵と重ね合わせることでその楽しさを味わった。また、1学期に描いたはねおどりの絵の鑑賞会では、色、形、イメージをもとに鑑賞することができた児童は84%、イメージはあってもそれを言葉に表現でき

ない児童は、16%であった。

また、日本の美術作品については、6年生になり社会科で歴史の授業もはじまり歴史に関心がある児童も多く、日本に古くから伝わる美術作品についても、興味をもっている。

(3) 指導観

指導にあたっては、まず社会科と関連付け昔からある日本の美術についてふれ、日本には古くから伝わる文化や美術がありそれが今も生活に根付いていることに気付かせる。

本時では、導入で、掛け軸「三十六歌千図」と屏風「松林図屏風」を提示し、いろいろな日本の美術作品に触れさせる。そして「鳥獣人物戯画」を鑑賞する。まず絵巻物について説明をして、絵巻物の特徴である右から左にストーリーが展開されていくことに気付かせる。そして2つの絵を提示し鑑賞させる。その際 表されている登場人物の表情、動きまた作品の表現方法 見つけたことからイメージしたこと 日本美術がどのように親しまれていたか考えるという鑑賞の視点を与える。そして、うさぎや蛙の表情や動きまたは周りの様子からストーリーを想像させそのよさや面白さを感じさせる。また墨の濃淡や筆の太さを変えながら表現していることのよさにも気付かせる。これらの鑑賞活動から、時代背景と関連させながら人々の生活の様子や日本美術が生活でどのように親しまれ、楽しまれていたか考えさせる。鑑賞の際には、自分の考えを鑑賞カードに書かせ自分の考えを発表させる。その際ペア学習を取り入れることで自分の考えに自信を持たせたり、明確なものにさせたりする。また友だちの考えから自分の考えをさらに広げたり深めたりしたことを発表させるなど言語活動の充実を図ることを通して、鑑賞の能力を付けさせる。

6 題材の目標

自分なりの感じ方をもって作品を鑑賞し、そのよさや特徴について話し合い、日本の美術への親しみを深める。

<主な育みたい資質や能力>

形、色、イメージなどに注目しながら美術作品を鑑賞して、よさや美しさを感じる力を高める力。

感じたことを友だちと交流することで、表現の意図や特徴をとらえる力を高める力。

7 題材の評価規準

B鑑賞

	造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
題材の評価規準	日本の美術作品を見て、その特徴やよさ、自分と友だちの感じ方の違いについて話し合うことで、そのよさや美しさを味わおうとしている。	作品から、日本の美術の表し方や特徴をとらえている。

〔共通事項〕ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。

イ 形や色などの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもつこと。

8 指導と評価計画 (全1時間)

過程	学習内容(時数)	評 価					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
一次 であい ひろがり ふりかえり	<p>・日本の美術作品を見て、そのよさを感じる、</p> <p>・2つの美術作品を鑑賞し、日本美術の表し方や特徴をとらえる。</p> <p>【言】ペア学習</p> <p>・自分の考えを伝えたり聞いたりすることで自分の考えを確かなものにしたたり広げたりする。</p> <p>活用</p> <p style="text-align: center;">(1 / 1)</p>					<p>[造形への関心・意欲・態度] 日本の美術作品を見て、その特徴やよさ、自分と友だちの感じ方の違いについて話し合うことで、そのよさや美しさを味わおうとしている。</p> <p>[鑑賞の能力] 作品から、日本の美術の表し方や特徴をとらえている。</p>	発表 鑑賞カード

9 本時の目標 (1 / 1)

- ・作品から、日本の美術の表し方や特徴をとらえることができる。

10 準備物

- 教師 ・拡大した作品 (2 枚) ・鑑賞カード

11 学習展開

	学習活動	指導上の留意点・指導者の支援	評価規準	評価方法
であ い 10 分	1 日本の美術作品を見る。 2 本時のめあてを確認する。	・日本の美術作品をいくつか紹介し、日本の美術作品について興味をもたせる。 日本美術の表し方や特徴を感じよう。		
	3 2つの作品を鑑賞して、日本美術の表し方や特徴を考える。	2つの作品を見てみましょう。これはそれぞれ何を表しているでしょう。登場人物の表情と動きに注目しましょう。また表現方法にも着目してよさを感じましょう。	【鑑賞】 作品から、日本の美術の表し方や特徴をとらえている。 〔共通事項〕 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること イ 形や色などの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもつこと	発表 鑑賞カード ・自分が感じた、日本美術の表し方や特徴を感じ発表している。
ひろ がり 30 分	一枚目の絵 ・かえるとうさぎが相撲をしているところで、うさぎの仲間がうさぎを応援している。 ・うさぎとかえるがけんかをしていると思います。かえるがうさぎの耳をかんでいます。でもまわりのうさぎは笑っているのをそれをおもしろがって見ていると思います。 二枚目の絵 ・かえるがうさぎを投げ飛ばして「どうだ、すごいだろうと言っていると思います。うさぎはなげとばされてしまったけど顔は笑っているので遊びでしているのだと思います。 ・投げ飛ばされたうさぎも笑っているし、かえるたちもみんな笑っているの、いつものことなのかと思いました。 表現方法 ・墨だけでいろいろな表情を描いている。 ・筆の太い細いを生かしているので絵に強弱がある。			
	4 これらの日本の美術作品が生活の中でどのような場面で使われ、どのように楽しまれていたか考える。 ・ペア学習をする。自分の考えを伝えたり聞いたりすることで自分の考えを確かなものにしたり広げたりする。	<Cと判断される子への支援> ・かえるとうさぎの表情に着目させる。 ・自分が好きだなと思う絵から考えさせる。 これらの日本の美術作品が生活の中でどのような場面で使われ、どのように楽しまれていたでしょう。 [ことばの教育] ・掛け軸は和室に飾られ、テレビなどが無い時代でもこの絵を見て楽しむことができたと思う。 ・屏風は、見る角度によって絵が違って見えるのでいろいろな角度から見ることを楽しんでいと思う。 ・「鳥獣人物戯画」は日本最古のまんがとして楽しまれていた。昔も今も、何かを見て楽しむということは変わっていないことが分かった。		発表 鑑賞カード ・日本の美術が生活の中でどのように親しまれてきたか考え、発表している。

ふりかえり5分	5 ふりかえり	<p>・日本の美術にはいろいろな特徴があり、昔から人々に親しまれていて、生活の中で楽しまれていたことが分かった。また友だちの考えを聞きその時代背景に合った美術作品が生まれていたということが分かった。</p>		

12 板書計画

和を感じよう～ Art de time slip～

めあて

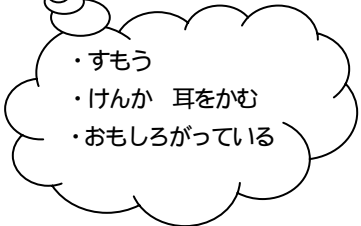
日本美術の表し方や特徴を感じよう。

絵巻物・・・右から左にストーリーが展開

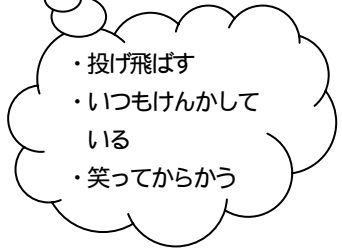
<鑑賞の視点>

- ・色・形 イメージ
- ・人物の表情
- ・人物の動き
- ・表現方法

<鳥獣人物戯画 1 枚目>



<鳥獣人物戯画 2 枚目>



13 場の設定

黒板

*拡大した絵をしっかりと見て鑑賞できるよう、内側を向かせる。